

# 鮭川出張所河川愛護モニタ－通信Vol.65

真室川小学校環境委員会の児童のみなさんからいただいた質問・報告と、鮭川出張所からの回答をご紹介します。

**報告①** 大雨の影響か、たくさん石が流れてきて河原が広がっていました。



**回答①** 大雨による洪水で山から流れてきた石や土砂が、水の流れの遅い場所や川幅が広がって流れがゆるやかになった場所にだんだんたまってしまい、河原が広がったと考えられます。土砂がたまると、水を流せる量が減るので、土砂の状態をいつもチェックしています。そして、これ以上たまと危険と判断したときは、川の流れが良くなるように、土砂を邪魔にならない場所に寄せたり、取り除いたりしています。

※洪水とは・・・普段よりはるかに多い水が川を流れること

令和6年5月の金山川と真室川の合流点の様子

令和6年8月の金山川と真室川の合流点の様子

場所:安久土橋付近 ※中洲とは・・・川の中で、土砂などが積もり重なって水上に出ている所。



**報告②** 大きな木が流れてきていました。

**回答②** 7月に大雨による大きな災害があり、流木や土砂で川の状況が大きく変わりました。流れ着いた木は再び洪水になると、堤防に悪さをするので、取り除く作業を急いでいます。



流木はチェーンソーで小さく切り、産業廃棄物として廃棄します

鮭川出張所では週4回、オレンジ色のパトロール車で金山川・真室川・鮭川の見まわりをしています。みなさんがマラソン大会や水生生物調査で利用している堤防や水辺の楽校も異常がないか点検をしているんですよ！これからも安全で安心な川になるように管理をしていきますので、引き続きモニター報告をよろしくお願ひします!!



鮭川出張所のパトロール車